



地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム  
JST・JICA SATREPS (2013)

# ワークショップ： 生物多様性保全のためのパームオイル産業 によるグリーン経済の推進プロジェクト

Promotion of Green Economy with Palm Oil Industry  
for Biodiversity Conservation

パームオイル産業の近代化による環境保全と  
余剰バイオマス・エネルギーからのグリーン産業の創出



2014年1月28日(火)  
14:00~16:00

JICA竹橋合同ビル8階研修室

研究代表： 国立大学法人 九州工業大学





## 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム JST・JICA SATREPS (2013)

九州工業大学の位置する北九州市は公害を克服すると同時に、今でも重工業が支える都市として、世界で4つのOECDグリーン成長モデル都市のひとつに選ばれました。ここで我々は、省エネルギーと省資源の観点から1滴の石油からできる限り多くの価値をつくる技術を実用し、石油ショックの危機を乗り切ると同時に、環境中に無駄なものを垂れ流さない社会をつくったのです。我々は、この経験を、パームオイル産業に伝え、さらなる収益の増加と同時に、環境をきれいに保全できることを伝えたいと思っています。

我々は第2次石油ショックの1978年くらいから、稲わらからのエタノール生産に代表されるバイオマス変換技術を数多く開発し、また、それらを用いた持続可能な事業モデルを数多く提案してきました。しかし、我が国では安定して均質のバイオマスが集まらないため、結局、補助金なしでは、なかなか、事業にならないという経験を続けてきました。一方、マレーシアのパームオイル産業は、1工場ですえ、年数万トンの均質のバイオマスが集まっておりますが、パーム産業の高収益性のため、これらの余剰バイオマスを利用することは考えられていません。そのため、工場運営はまさに、石油ショック前の日本、公害問題の最盛期の日本と同様、非常に無駄が目立ちます。私たちは、今回、SATREPS事業「生物多様性保全のためのパーム油産業によるグリーン経済の推進プロジェクト」を始めるチャンスをいただき、マレーシアに日本の公害克服と石油ショックを克服した経験を持ち込むことにより、環境が改善され、さらに、余剰のエネルギー、バイオマスから新たなグリーン産業が創出できることを、マレーシア内に設置予定であるショーケース工場で示そうと思っています。

日本企業の皆様にはこの機会に私たちの取組に是非、ご注目いただき、事業化、商業化の際の忌憚のない、ご意見、ご質問、ご忠告を賜ればと思い、ここに、第1回の企業様対象のワークショップを開催します。そして、ここで是非ビジネスチャンスをみつけていただき、今後のパーム産業が発展する途上国で、環境にやさしく、高収益なグリーン産業の創出を実現いただければと願っています。どうぞ、ご参加をいただけますよう、お願い申し上げます。

SATREPS プロジェクトリーダー 九州工業大学 教授 白井義人

お問合せ、ご出席ご希望の場合、shirai[at]life.kyutech.ac.jpまでご一報ください。([at]を@に変えて送信してください)

会場案内



1960 北九州市、かつて新日鐵、三菱化学等重工業が支える公害の街  
それが、現在、環境都市として世界に君臨。ただし、新日鐵も三菱化学も今も北九州市を支える。環境と経済を両立させた街

1992 死の海から  
国連環境リーダーシップ賞  
受賞 (1992)  
環境未来都市選定(2011)  
OECDグリーン成長  
モデル都市選定 (2011)

